

安全な子供のおもちゃの提案

A2200929 和田 真典

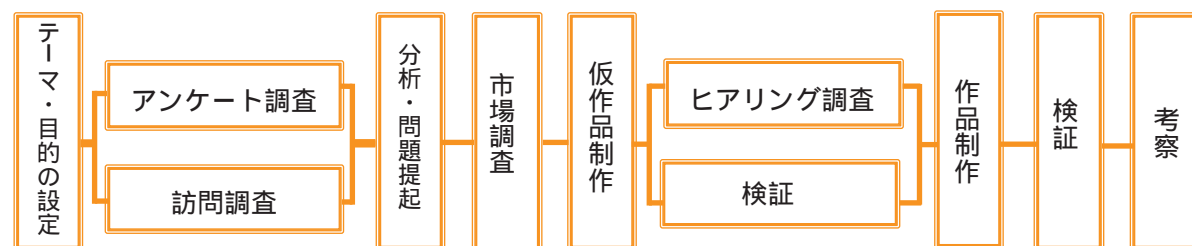
研究の背景・目的

おもちゃは子供にとって身近なものであり、子供の年齢と発達に応じておもちゃの種類が異なる。しかし、子供は大人が思いもしない行動や扱い方をすることから怪我、事故を招いてしまう危険性がある。

研究概要

子供がおもちゃで遊んでいる行動や特徴を調査・観察し、問題点を抽出する。それらを基に安全なおもちゃを考案する。

研究方法



調査関連

アンケート調査（0歳から6歳までのお子さんを持つ保護者100人 夏季休業中）

説明書を読むか

読む	16
読まない	84
回答合計数	100

玩具の購入基準（複数回答）

大きさ	12
機能	25
扱いやすさ	34
形状	39
成分（材質）	54
回答合計数	164

危険・安全と感ずる玩具（複数回答）

危険と感ずる玩具	
おもちゃの剣	71
プラモデル	57
積み木	40
フィギュア	34
ブロック	8
その他	25
回答合計数	235

安全と感ずる玩具

ぬいぐるみ	68
カードゲーム	41
レゴ	35
パズル	34
テレビゲーム	28
その他	34
回答合計数	240

今後求められる玩具（複数回答）

興味を引くもの	1
年齢にあったもの	3
おもしろい	6
遊ぶ方が単純	7
何歳でも扱える	8
勉強に役に立つ	9
日常生活に役に立つ	11
扱いやすい	12
デザインが良い	15
親子で遊べる	16
複数で遊べる	18
子供の能力を引き出す	25
安全である	27
ひとりでも遊べる	39
回答合計数	197

注意書きを含む説明書を読むかどうかの質問には、読まない方が8割。玩具の購入基準については成分（材質）に注意するという答えが多かった。危険と感ずる玩具を調査したところ、形状が複雑である玩具が多かった。一方で、安全と感ずる方は比較的体を動かさない玩具が多かった。また、今後求められる玩具についてたずねたところ、安全である玩具よりもひとりで遊べる玩具を求めるという意外な答えが多数を占めた。

訪問調査（社会福祉法人 博愛会 すくすく園）

年齢	行動
0歳	保育士さんや他の子供の行動をまねする。 なめる、口に入れる、たたく
1歳	運動機能が著しく発達し歩けるようになり、押したり投げたりできるようになる。 口に入れる、押す、投げる、なめる、たたく
2歳	体を自分の思うように動かすことができるようになる。 口に入れる、並べる、積み重ねる、引く、押す、はめる
3歳	集団で遊ぶことが増え手先が器用に発達 違う玩具同士を組み合わせて遊ぶ。

行動観察の結果、年齢によって運動機能の発達からさまざまな行動に見られたが、特に低年齢の子供に、玩具をなめる、口に入れてしまう行動が多く見られた。そのときは保育士さんたちが危ないということゆっくりと言いつけていた。逆に、年齢が上の子供達には、集団で遊んだり、違う玩具を組み合わせて遊ぶ傾向が見られた。

アンケート調査（夏季休業後）

どこに危険を感じるか（0歳から6歳までのお子さんを持つ保護者100人）

おもちゃの剣	
刃先	61
振り回してしまう	57
あたら痛	48
重い	2
硬い	1
回答合計数	169
フィギュア	
投げたしまう	15
口に入れてしまう	11
形状が複雑	6
取り合いなる	2
回答合計数	34

プラモデル	
当たったら痛い	54
部品が小さい	32
口に入れてしまう	14
なめてしまう	12
大きさが小さい	1
回答合計数	113
ブロック	
硬い	31
口に入れてしまう	24
投げたしまう	8
回答合計数	63

積み木	
角がとがっている	53
口に入れてしまう	32
あたら痛	27
硬い	21
なめてしまう	15
大きさが小さい	1
回答合計数	149

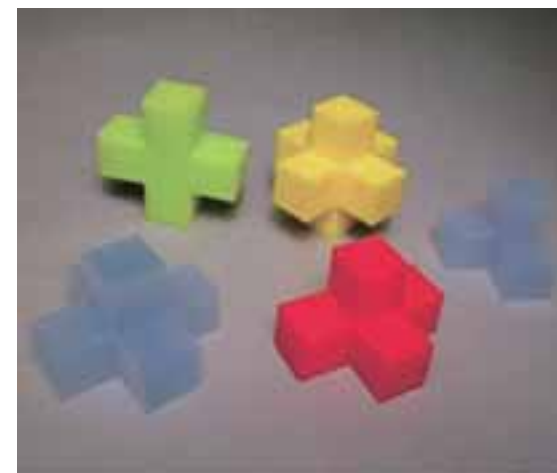
この調査の結果を見ると、どの玩具にも口に入れてしまう、なめてしまうなどの意見が多い。また、同時に行ったヒアリングでは、これらの玩具は0歳から3歳児が扱ったら危ないという意見も多く聞かれた。これらの玩具のうち、剣やプラモデルなどはほとんどが5歳以上向けに多い一方で、積み木は年齢対象が0歳児から3歳児向けのものが多い。さらに、積み木は危険な玩具に挙げられているにもかかわらず、出産祝いや誕生日のプレゼントとして人気が高い。これらのことから制作対象を積み木とし、サイズ、材質、形状といった観点からその安全性に配慮し、デザインした積み木の改訂版を考案する。

考案

積み木の改訂版

材質 シリコン 基尺 20mm 対象年齢 3歳

完成作品



遊び方

